

12 10:40 本学歯学部学生の学習環境満足度アンケート調査結果

○高田 豊^{1,2}、豊野 孝^{2,7}、荒井秋晴^{3,7}、稲永清敏^{4,7}、
後藤哲哉^{5,7}、西原達次^{6,7} 九歯大・¹内科、²口腔組織、
³総合教育、⁴生理学、⁵頭頸解析、⁶感染生物、⁷大学自己評価部会

教育の学生満足度を改善するためには学習環境の満足度を把握することが重要である。そこで、本学歯学部学生2, 3, 4, 5, 6年生の全員(489名)を対象に学習環境満足度アンケート調査を平成19年4月に行った。398名から回答を得た。学習環境満足度(21.0%)は教育満足度(42.9%)よりも低かった。個々の学習環境満足度も低く、大部分の項目で不満足者が満足者よりも多かった。不満足度は6年生が2, 3, 4, 5年生よりも高く、女性が男性よりも高かった。単回帰分析($r=0.44\sim0.61$; $P=0.000$)、重回帰分析($\beta=0.44\sim0.60$; $P=0.000$)とともに、学習環境全体の満足度は個々の学習環境満足度と有意な正の関係にあった。また、学習環境全体の満足度と教育全体の満足度にも有意な正の関係があった。学習環境全体の不満度が学習環境個々の不満度や教育全体の不満度と正の関係が強いことから、本アンケート調査設問項目の個々の学習環境を改善していくことで学習環境全体の学生満足度が上昇し、さらには教育への学生満足度も改善できる可能性が示唆された。

5月31日(土) 午後の部

13:30~16:00

座長：小 城 辰 郎(九歯大・口腔再建リハ)

13 13:30 DEBUT(オンライン歯科臨床研修評価システム)導入初年度の評価

○永松 浩、西野宇信、曾我部浩一、農蘇千絵、木尾哲朗、
寺下正道

九歯大・総診

平成18年度より歯科医師の臨床研修が義務化されたことに伴い、九州歯科大学附属病院臨床研修プログラムにおいてDEBUT(オンライン歯科臨床研修評価システム)が平成19年度より本格的に導入された。このシステムは歯科医師臨床研修の管理型施設・協力型施設においてインターネットを利用し、オンラインで研修項目や評価の入力・参照ができるものである。

第1総合診療科に在籍していたプログラムA、Bの研修歯科医30人の入力した研修内容、自己評価および指導歯科医の入力した評価について検討した。

4か月毎に期間設定してあったが、入力期限を大幅に延長して入力を促さなければならなかった。これは本格導入初年度のため、システムそのものに対する理解度が低かったためと思われる。また、研修項目の入力件数は個人差が大きかった。これは、協力型施設による診療傾向の違いを考慮し、入力必須件数を設定しなかったためと考えられる。

今後はオンライン評価システムの利点を生かし協力型施設との連携を深め積極的に取り組むこととシステム運用法の改善の必要性が示唆された。